

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	城東区
学校名	大阪市立中浜小学校
学校長名	高品 勝年

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立中浜小学校では、第6学年 35名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度、大阪市立中浜小学校の全国学力学習状況調査の結果は、国語科・算数科・理科のすべての教科において全国平均を上回り、国語科・算数科においては大きく上回る結果となった。特に国語科の読解力や算数科の図形・データ活用能力といった思考力を要する問題で正答率が高い結果となった。また、児童質問紙において、多くの児童が「授業がよく分かる」「勉強が好きだ」の質問に対して肯定的な回答をしており、高い学習意欲が見られ、課題とされる算数科での記述問題においても無答率が低く、最後まで粘り強く取り組もうとする姿勢が見られた。

児童の強みである思考力と高い学習意欲を基に、今後の課題として「理論的に表現する力」の育成に繋げていく必要がある。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

令和7年度の結果から、国語科と算数科が全国平均をそれぞれ6.2、5.2ポイント大きく上回り、理科も全国平均を0.1ポイント上回った。基礎知識に加え、思考力や表現力を問う問題でも正答率が高い結果となった。

[国語] 全ての領域で全国平均を上回り、特に文章の構造を捉える読解力が際立った結果となった

[算数] 図形やデータの活用に関する結果が全国平均を大きく上回っていたが、分数の一部や計算過程を言葉で説明する問題で課題が見られた。

[理科] 生命・地球分野において全国平均を上回ったが、エネルギーや粒子といった目に見えない現象を科学的に考察し、実験を計画する問題では課題が見られた。

児童の強みである思考力を基本として、理科での探求活動や算数科での論理的な説明能力の育成を進めるため、第2教育ブロックが推奨している自主学習を活用し、探究的な学びを推進すると共にスクールアドバイザーを活用した指導力向上も進めていく。

質問調査より

児童質問紙調査の結果より、学習意識と学校生活における複数の特徴が見られた。

○学習面においては、「授業の内容がよく分かる」「国語や算数の勉強が好きだ」といった項目で、肯定的な回答が全国平均を上回る結果となった。特に国語と算数における学力調査の結果に繋がったと考えている。

○学校生活では、「いじめは絶対にいけない」と回答した児童が100%に達し、全国平均を大幅に超える結果となつた。これは、児童間に高い規範意識が共有されており、いじめを絶対に許さないという考え方方が児童に浸透しているという結果が見られた。さらに、課題とされた算数の記述問題においても最後まで解答しようと試みた児童の割合が全国平均を上回り、困難な課題に対しても粘り強く取り組む姿勢が定着している。

今後はこの学習意欲をより一層高めるため、探究的な学びを進めるため自主学習を推奨し、児童が主体的に学習するよう取り組みを進めていく。

今後の取組(アクションプラン)

中浜小学校では令和7年度全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、以下の取組を充実する。

- 「いじめは絶対にダメ」という児童の気持ちを大切に、これからも安心して過ごせる学校づくりを進める。
- 算数科で「どうしてその答えになったのか」を伝えたり国語科で自分の意見を積極的に発表したりして、自分の考えを言葉にする活動を色々な学習の場面で取り入れていく。
- 国語科で学んだ説明する力や算数の計算する力を合わせ、いろいろな学習場面で活かすことができる活動を取り入れ、自分の知識が実生活でどう役立つかを実感できる学習活動を目指す。
- 難しい問題にじっくりと取り組み、「どうすれば問題を解決することができるか」に触れ、『あきらめない心』を『考える力』に結びつける学習活動を目指す。
- 特に理科の学習場面で子ども達から表出する「なぜ?」を大切にし、実験や観察の学習機会を多く設定する。また、みんなでわくわくしながら問題解決する学習活動を目指す。

児童質問より

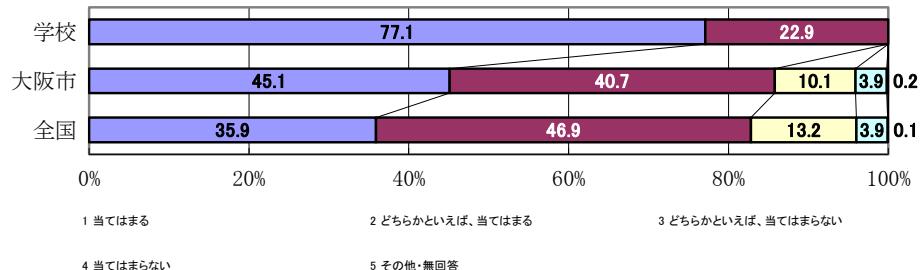
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

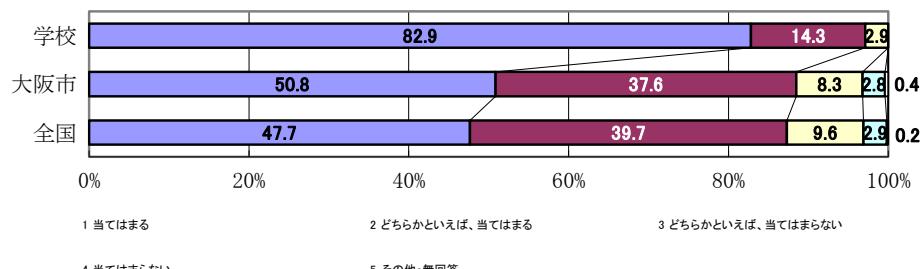
46

国語の授業の内容はよく分かれていますか



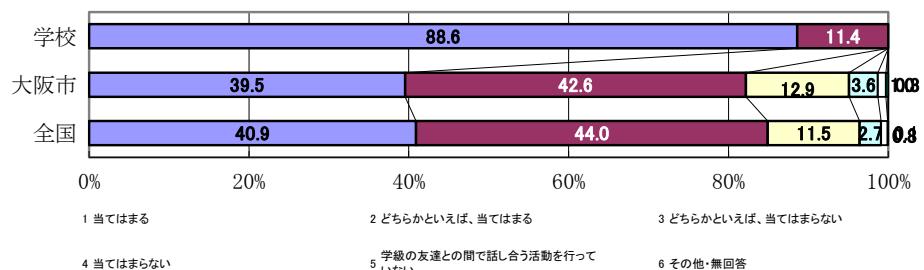
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



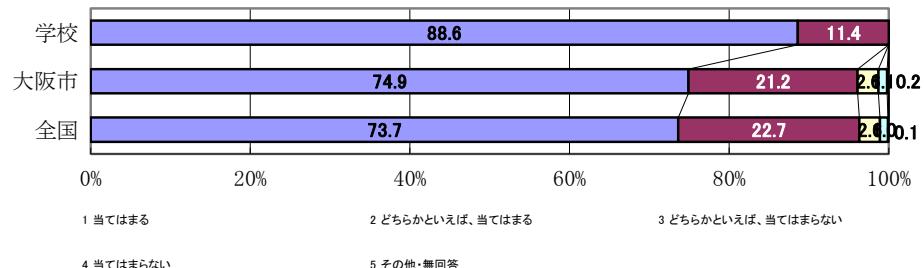
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



9

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか



学校質問より

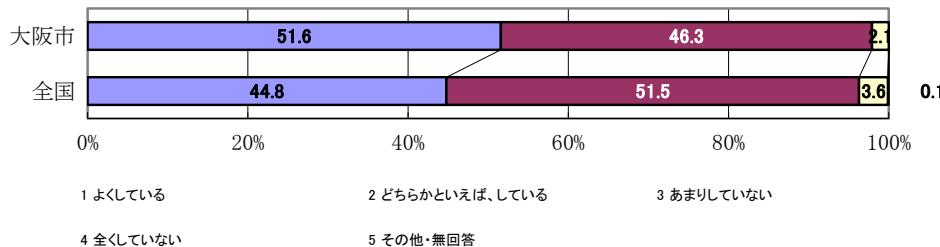
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

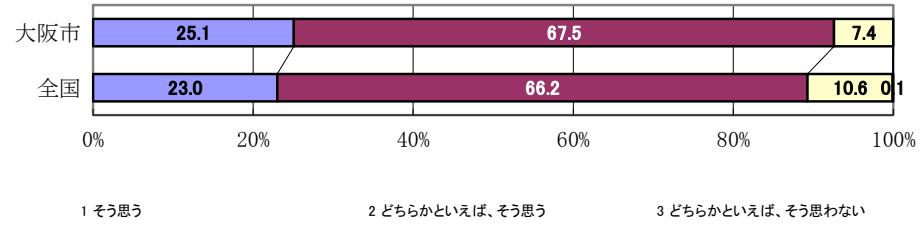
学校 「よくしている」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

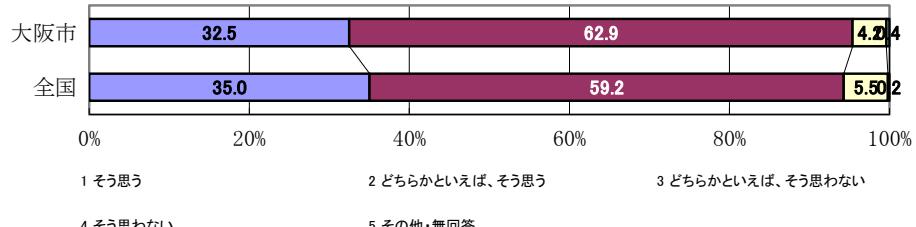
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

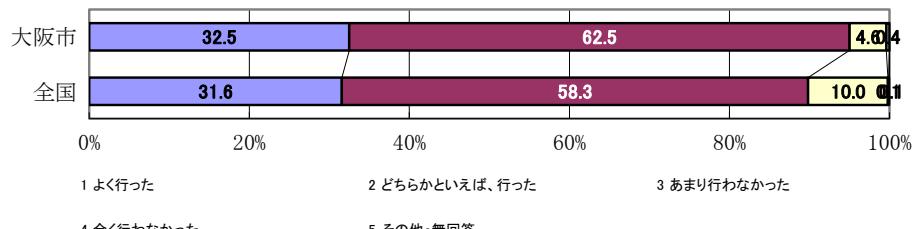
学校 「そう思う」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「よく行った」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択

